



第131号

令和2年

5月18日発行

蒼雲

【発行】

島根県立三刀屋高等学校

〒690-2404

雲南市三刀屋町三刀屋 912-2

TEL : 0854-45-2721

FAX : 0854-45-5630

「志あるところに道はある」

校長 倉崎千草

新年度第1号の「蒼雲（131号）」は、思わぬ状況下で発行することとなりました。ただ今、臨時休校3週目です。

始業式・入学式・入寮式は迎えることができたものの、状況は刻々と変わり、遠足、台湾研修、PTA総会、生徒会選挙…、次々と中止や延期を余儀なくされました。そして、誰もが恐れていた県総体、インターハイ中止の報が入りました。生徒の皆さんや支える方々の気持ちを思うと言葉がありません。顔を見ることもできない中で、今はただ皆さんの心身の健康を願い、必ず来る再スタートのときを待つのみです。

令和2年度は「全校一斉に」という機会が全くもてないままここに至っています。誌面をお借りして、始業式で上級生にお話ししたことを紹介しメッセージとします。

1年前、私たちは平成最後の始業式、入学式を迎えていました。今、日本が、世界が、このように見えない敵との戦いに突入しようとは、誰も思っていなかったはずです。

全国各地の学校が休校となり、授業、部活動、行事など、学校としての「当たり前」の日常がストップしています。もはやひとごとではなく、私たちも今まで以上に多くの我慢と、考えや行動の切り替えが必要になってくるでしょう。

3学期終業式の放送で話したことを覚えていますか。感染症の患者さんや治療に奮闘する病院スタッフに寄せ書きを贈った小学生たちのエピソードを紹介しました。今日改めて、あのとき皆さんに伝えたかったこと、私自身にも言い聞かせたいことを繰り返します。

「肝心なのは、この状況の中でわいてくるさまざまな感情や言葉、ふるまいの中から、自分がどれを選ぶかだ」

今まさにこれが問われている時だと思います。誰かを悪者にしても、不平不満をぶつけても、実際は誰も救われません。同じことなら、自分の足下から周りの人の道までも照らすような、言葉やふるまいを選びたいものです。皆さんの若さ、優しさ、柔軟な思考は、このピンチの中でこそ必要とされるはずです。

お話の最後に、今年度の三高の合言葉を二つ、掲げたいと思います。

◆一つは、昨年度からの継続で、

「凡事徹底 日々新生」

当たり前のことを誠実に堅実にやりとおすことこそ、実はとても難しい。私たちの本当の強さが試されると思います。

◆そして、もう一つ。

「志あるところに道はある」～ Where there is a will, there is a way. ～

限りある高校生活です。三高という舞台を活かして、やりたいことやなりたい自分を追求してほしいと思います。強い志あるところには、かなえる方法も、応援してくれる仲間も生まれてくるはずです。

どんな状況でも、季節は忘れずにめぐってきます。野山は花ざかり、鳥たちは美声を競い合っています。ときには遠くを眺め、耳を澄まし、心を和ませながら歩いていきましょう。

明日は入学式です。全員参列しての祝福はできませんが、134名の仲間を温かく迎え導いてあげてください。大きな可能性をもった418名の生徒たちと我々教職員がチームとなって道を拓く、そんな三高をつくっていきましょう。



令和2年度 入学式

4月9日（木）、青空のもと「令和2年度 第73回入学式」が挙行されました。卒業式に続き規模を縮小した形ではありましたが、晴れて134名が新たに三刀屋高校の一員となりました。

入学許可の後、校長から「三高で何かやってみたい、こんな姿の自分になりたい。それがまだ漠然とした思いではあっても、志を高く掲げて、三刀屋高校や雲南市という舞台上で躍動してほしい」という言葉が贈られました。これを受けて新入生代表の伊藤滉基さんが「将来の夢や目標を実現させるために、日々の学習や部活動等に積極的に取り組み、悔いのない3年間を送りたい」と高校生活への強い決意を述べました。



【全国高校生マイプロジェクトアワード2019全国サミット 参加報告】

令和元年度卒業生 小田 瑞貴

私はこのサミットに2年連続鳥根県代表として出場しました。今年は新型コロナウイルスの影響によりオンラインで開催されました。私は、出雲神楽をブランド化し商業化することで、後継者だけでなく経済面でも活性化させたいと考え活動してきたことをプレゼンしました。結果は全国優秀賞でした。満足はしていませんが、活動をたくさんの人に知ってもらうことができ貴重な体験となりましたし、自分の進学の大きな力にもなりました。この活動が継承されていることも非常に嬉しいので、後輩も力を入れて取り組み、進路実現につなげてほしいと思います。

現在は、岡山県の大学に進学し地域マネジメント学について研究しています。将来は雲南市に戻り、学んできたことを生かし地域活性化に努めたいと思います。

新任者紹介 /

教 頭	本間 達也 (飯南高校より)
国 語	田中 洋子 (出雲養護学校より)
国 語	岡崎 真弓 (吉賀高校より)
地歴公民	岩町 暁 (宍道高校より)
地歴公民	大谷 晃二 (松江北高校より)
地歴公民	嘉本 京太 (津和野高校より)
数 学	小川 剛 (松江市立女子高校より)
数 学	片岡 初美 (平田高校より)
数 学	周藤 雅 (津和野高校より)
数 学	井上 真誠 (新規採用)
理 科	青木 康能 (横田高校より)
理 科	島谷 純子 (松江南高校より)
保健体育	河上 誠貴 (姫路北高校より)
英 語	和田耕一郎 (松江南高校より)
英 語	桑原 知歩 (新規採用)
実習教員	藤井 理絵 (飯南高校より)
事務長	梅木 啓之 (土木総務課より)
企画員	堀江 智 (飯南高校より)
教育魅力化コーディネーター	佐々木康弘

新任者代表あいさつ



教頭 本間 達也

このたびの人事異動により教育魅力化コーディネーターを含め19名の教職員が三刀屋高校に着任いたしました。

旧制中学の流れをくみ、4年後に創立100周年を迎える、伝統ある三刀屋高校に勤務できることは大変光栄なことです。年度当初から通常の教育活動が困難な状況が続いていますが、それぞれの立場から生徒の皆さんを支援していけるよう努めて参ります。

生徒の皆さん、保護者・地域の皆様、一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

教育魅力化コーディネーター 佐々木康弘

高校、地域、雲南市が一体となり三刀屋高校の教育を支え、より魅力的にしていく取組を始めて4年目になりました。

今年度は新型コロナウイルスの影響で、未曾有の事態が続く変化の激しい1年になると思いますが、教育魅力化コーディネーター（NPOカタリバ職員）は引き続き三刀屋高校のキャリア教育を支えながら、自宅に居ても生徒が学びを続けていける環境づくり（オンラインでの授業実施や、生徒と先生のオンラインでの双方向のやり取りなど）も頑張っていきたいと思っております。

引き続き応援よろしくお願いたします。